

平成30年度 第10回全体庁議（11月7日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(1) 帯広市環境モデル都市行動計画（素案）について [市民環境部]
----	-------	--------------	---------------------------------------

■ 提案・報告の趣旨

本市は平成20年に環境モデル都市に選定され、帯広市環境モデル都市行動計画を策定し、地球温暖化の防止と活力あるまちづくりが両立した持続可能な低炭素社会の実現を目指し取り組みを進めてきた。  
 現行計画の最終年度を迎えたことから、次期行動計画の策定に向け、これまでの取り組みの成果や課題のほか、取り組み内容について検討を行い、素案をまとめたため、同内容を11月16日の厚生委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

8月に厚生委員会に報告した策定方針を踏まえ、検討し、素案をまとめた。

1 計画策定の背景

地球温暖化をめぐる国内外の動向などとともに、温室効果ガス削減を図る「緩和」の取り組みに加え、温暖化により生じる影響への「適応」の視点をもった施策の推進が必要となっている。

2 全体構想

現行計画同様、5つの視点と将来像をもとに、地球温暖化の防止と活力あるまちづくりが両立した持続可能な低炭素社会の実現を目指す。

また、中長期の温室効果ガス削減目標については変更せず、2030年までに基準年(2000年)比30%以上、2050年までに50%以上の削減とし、それを踏まえ、次期計画期間最終年度である2023年には22%以上の削減を目指す。

3 取り組み内容

各視点と将来像に基づく具体的取り組みをまとめたもの。

- ・家庭部門からの排出が課題であることから、「一般家庭への省エネ機器の導入促進」「太陽光発電の普及」の項目について拡充を図るとともに、「COOL CHOICEの推進」により、市民の具体的行動の実践につなげる。
- ・農業分野での新規項目として「スマート農業の取り組み」を追加するなど、より本市の地域特性を踏まえたものとする。

■ 今後のスケジュール

平成31年3月の計画策定に向けて取り組みを進める。

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| ・平成30年11月16日        | 厚生委員会報告（素案）  |
| ・平成30年11月21日～12月21日 | パブリックコメント実施  |
| ・平成30年2月            | 厚生委員会報告（計画案） |
| ・平成30年3月            | 計画策定         |

■ 審議結果

同内容で、11月16日厚生委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

特になし